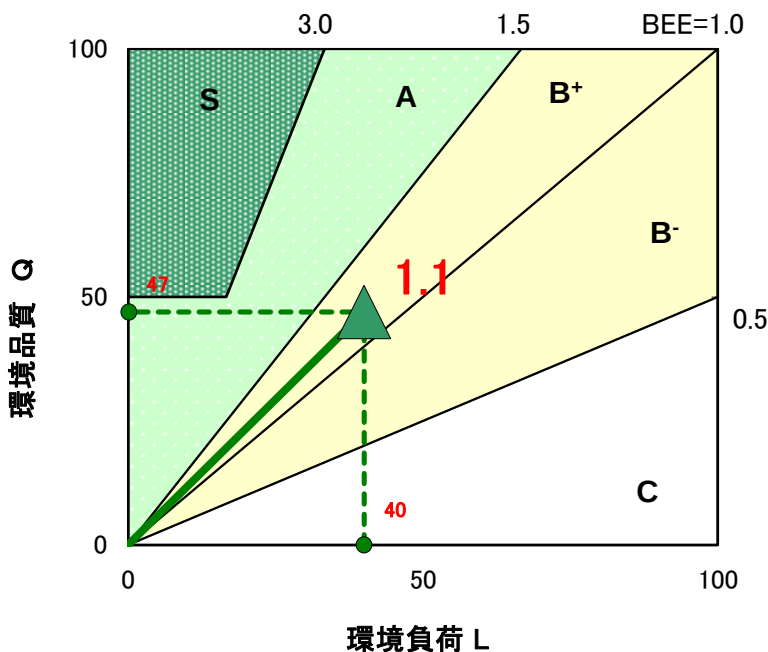


CASBEE®

熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観
建物名称	杏仁会(仮)新大江サービス付高齢者	階数	地上4F	
建設地	熊本県熊本市中央区新大江3丁目6	構造	S造	
用途地域	第2種中高層住居専用地域	平均居住人員	60 人	
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	病院,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2016年2月 予定	評価の実施日	2015年5月13日	
敷地面積	1,929 m ²	作成者	蔵原 佳代子	
建築面積	1,152 m ²	確認日	2015年5月14日	
延床面積	3,393 m ²	確認者	吉永 拓郎	

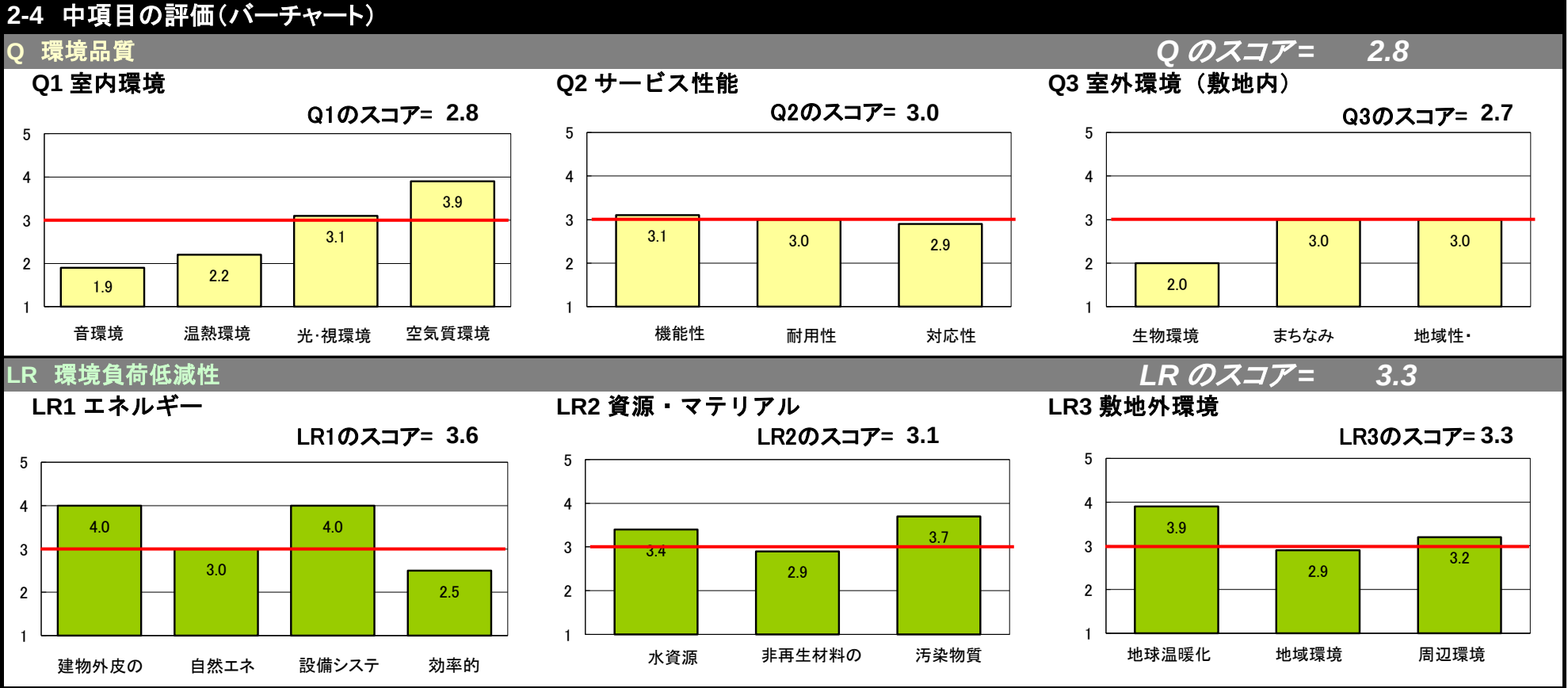
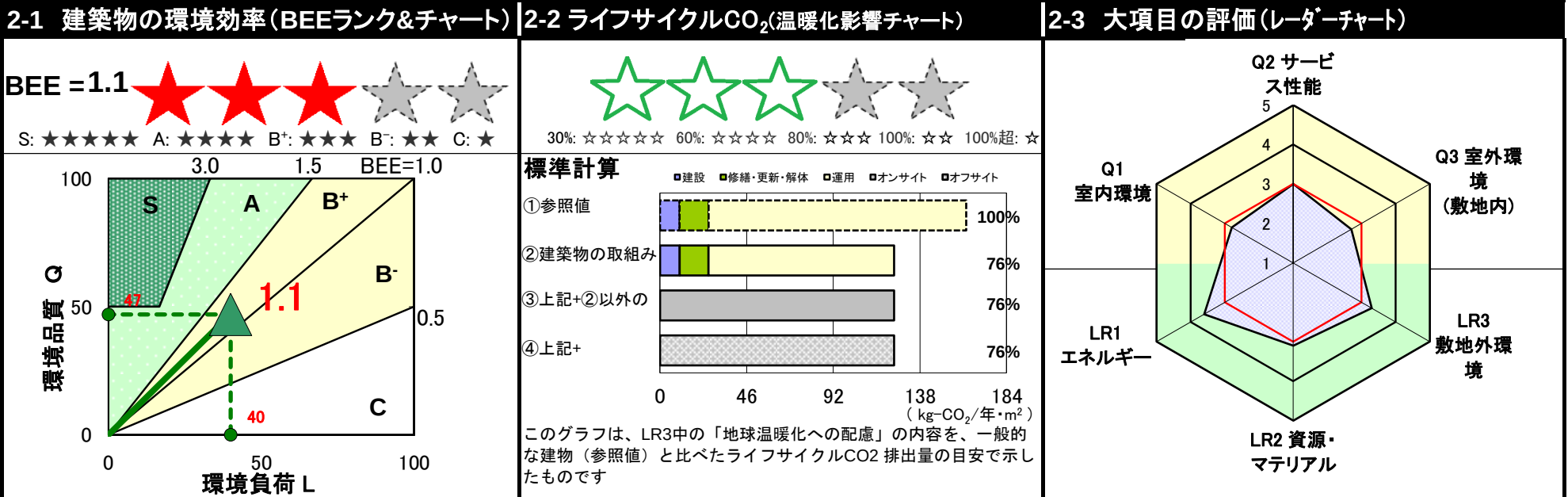
1 CASBEE評価結果																																																
■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)																																																
★★★★★☆☆☆☆ 			BEE = 1.1 ■BEE(環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$ ■環境効率評価基準 <table><tr><th rowspan="2">ランク</th><th rowspan="2">ランク表示</th><th rowspan="2">評価</th><th colspan="2">判定値</th></tr><tr><th>BEE値</th><th>Q値</th></tr><tr><td>S</td><td>★★★★★</td><td>素晴らしい</td><td>3.0以上</td><td>50以上</td></tr><tr><td>A</td><td>★★★★★</td><td>大変良い</td><td>1.5以上3.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁺</td><td>★★★★</td><td>良い</td><td>1.0以上1.5未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁻</td><td>★★★</td><td>やや劣る</td><td>0.5以上1.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>C</td><td>★</td><td>劣る</td><td>0.5未満</td><td>—</td></tr></table> ■ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準 <table><tr><th>判定値(排出率)</th><th>ランク表示</th></tr><tr><td>30%以下</td><td>☆☆☆☆☆</td></tr><tr><td>30%超60%以下</td><td>☆☆☆☆</td></tr><tr><td>60%超80%以下</td><td>☆☆☆</td></tr><tr><td>80%超100%以下</td><td>☆☆</td></tr><tr><td>100%超</td><td>☆</td></tr></table>		ランク	ランク表示	評価	判定値		BEE値	Q値	S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上	A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—	B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—	B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—	C	★	劣る	0.5未満	—	判定値(排出率)	ランク表示	30%以下	☆☆☆☆☆	30%超60%以下	☆☆☆☆	60%超80%以下	☆☆☆	80%超100%以下	☆☆	100%超	☆
ランク	ランク表示	評価	判定値																																													
			BEE値	Q値																																												
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上																																												
A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—																																												
B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—																																												
B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—																																												
C	★	劣る	0.5未満	—																																												
判定値(排出率)	ランク表示																																															
30%以下	☆☆☆☆☆																																															
30%超60%以下	☆☆☆☆																																															
60%超80%以下	☆☆☆																																															
80%超100%以下	☆☆																																															
100%超	☆																																															
■ ライフサイクルCO ₂ 排出性能(ランク表示)			排出率																																													
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆			76%																																													

2 熊本県重点評価結果				
■ 重点事項総合評価				評価点
熊本県重点評価基準 重点事項1 温室効果ガス排出量削減の推進 重点事項2 安全安心で暮らしやすい社会の実現 重点事項3 県の地域資源の有効活用と保全 重点事項4 循環型社会の実現				79
		評価点	■熊本県重点評価基準	
		84.6	判定値(評価点)	ランク表示
		71.2	100点以上	★★★★★
		82.5	80点以上100点未満	★★★★
		71.8	60点以上80点未満	★★★
			40点以上60点未満	★★
			40点未満	★
※評価点は、100点以上が推奨です。				

CASBEE®熊本《新築》評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2014年版 ■使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要			1-2 外観
建物名称	杏仁会(仮)新大江サービス付高齢者	階数	地上4F
建設地	熊本県熊本市中央区新大江3丁目6	構造	S造
用途地域	第2種中高層住居専用地域	平均居住人員	60 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年2月 予定	評価の実施日	2015年5月13日
敷地面積	1,929 m ²	作成者	蔵原 佳代子
建築面積	1,152 m ²	確認日	2015年5月14日
延床面積	3,393 m ²	確認者	吉永 拓郎



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE® 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

敷地空地部分への植栽、屋上緑化など積極的に緑化を図り、施設利用者の快適性、周辺環境に配慮した設計とした。

Q1 室内環境

居室の窓を大きくし、通風・採光の確保に努め、快適な住空間を目標とした。
使用建材はF☆☆☆☆製品とし、化学物質汚染被害を防止する。

Q2 サービス性能

将来の更新を想定し、居室はビニルクロスを採用。
各所にPS、点検口を確保し、設備機器等の更新に備える。

Q3 室外環境（敷地内）

外壁材（タイル）の彩度を落したデザインとし、周囲への太陽光の反射やグレアの軽減を図る。

LR1 エネルギー

日射遮蔽性を図り、断熱性能を高めるよう、テラス（ベランダ）を設ける計画した。

LR2 資源・マテリアル

限りある資源を有効に利用する。
井水を利用する計画とした。

LR3 敷地外環境

空調室外機等の大型設備機器は屋上に設け、近隣への騒音などに配慮する。

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称

杏仁会(仮)新大江サービス付高齢者向け住宅新築工事

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2015年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		79
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				84.6	0.40	33.84
Q1-2.1.2	外皮性能	1.0	0.00			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	3.3	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	4.0	0.16			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.21			
LR1-3	設備システムの高効率化	4.0	0.32			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.11			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.11			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				71.2	0.20	14.24
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	3.0	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				82.5	0.20	16.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				71.8	0.20	14.36
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.6	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数

CASBEE-建築(新築)2014年版			■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版					
杏仁会(仮)新大江サービス付高齢者向け住宅新築工事			■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)					
スコアシート 実施設計段階			欄に数値またはコメントを記入					
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
			評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質							2.8	
Q1 室内環境				0.40	-		2.8	
1 音環境			1.8	0.15	2.2	1.00	1.9	
1.1 騒音		【共用部】50dB(A)、待合室 40dB(A)、診療室【住居部】35dB(A)、病	3.0	0.40	4.0	0.40		
1.2 遮音			1.0	0.40	1.0	0.40		
1		開口部遮音性能	1.0	0.40	1.0	0.30		
2		界壁遮音性能	1.0	0.60	1.0	0.30		
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)	-	-	1.0	0.20		
4		界床遮音性能(重量衝撃源)	-	-	1.0	0.20		
1.3 吸音			1.0	0.20	1.0	0.20		
2 温熱環境			2.4	0.35	1.9	1.00	2.2	
2.1 室温制御			3.0	0.50	2.1	0.50		
1		室温	3.0	0.50	3.0	0.57		
2		外皮性能	-	-	1.0	0.43		
3		ゾーン別制御性	3.0	0.50	-	-		
2.2 湿度制御			3.0	0.20	3.0	0.20		
2.3 空調方式			1.0	0.30	1.0	0.30		
3 光・視環境			3.0	0.25	3.6	1.00	3.1	
3.1 昼光利用			3.0	0.30	4.2	0.30		
1		昼光率	-	-	5.0	0.60		
2		方位別開口	-	-	-	-		
3		昼光利用設備	3.0	1.00	3.0	0.40		
3.2 グレア対策			3.0	0.30	4.0	0.30		
1		昼光制御	3.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度			3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御			3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気質環境			4.1	0.25	3.7	1.00	3.9	
4.1 発生源対策			5.0	0.50	5.0	0.63		
1		化学汚染物質	5.0	1.00	5.0	1.00		
2		アスベスト対策	-	-	-	-		
4.2 換気			2.0	0.30	1.6	0.38		
1		換気量	3.0	0.50	3.0	0.33		
2		自然換気性能	-	-	1.0	0.33		
3		取り入れ外気への配慮	1.0	0.50	1.0	0.33		
4.3 運用管理			5.0	0.20	-	-		
1		CO ₂ の監視	-	-	-	-		
2		喫煙の制御	建物全体が禁煙	5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-	3.0	
1 機能性			2.5	0.40	4.4	1.00	3.1	
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40	5.0	0.60		
1		広さ・収納性	居室:19.8㎡～42.9㎡	-	5.0	1.00		
2		高度情報通信設備対応		-	-	-		
3		バリアフリー計画		3.0	-	-		
1.2 心理性・快適性			1.0	0.30	3.5	0.40		
1		広さ感・景観	天井高:2.5m	-	4.0	0.50		
2		リフレッシュスペース		-	-	-		
3		内装計画		1.0	3.0	0.50		
1.3 維持管理			3.5	0.30	-	-		
1		維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-		-
2		維持管理用機能の確保	・清掃用具入れ設置、廃棄物スペース確保、共用部に電源を計画、バル	4.0	0.50	-	-	
3		衛生管理業務		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性			3.0	0.30	-	-	3.0	
2.1 耐震・免震			3.0	0.50	-	-		
1		耐震性	3.0	0.80	-	-		
2		免震・制振性能	3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数			3.6	0.30	-	-		
1		躯体材料の耐用年数	3.0	0.20	-	-		
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔	タイル貼(50年)	5.0	0.20	-		-
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-		-
4		空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-		-
5		空調・給排水配管の更新必要間隔	C以上を使用	4.0	0.20	-	-	
6		主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		2.4	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		1.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				3.1	0.30	2.7	1.00	2.9
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり		2.8	0.30	2.4	0.50	
	2	空間の形状・自由さ	【共用部】比率:0.23	2.0	0.60	2.0	0.60	
				4.0	0.40	3.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	構造部材・仕上材を痛めることなく、更新・修繕できる。	5.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	構造部材・仕上材を痛めることなく、更新・修繕できる。	5.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出				2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制			二重サッシの採用	4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI 非住宅 0.72 住宅(専有部) 0.83	4.0	0.50	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)			LED照明、高効率空調の採用	4.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)				-	-	-	-	
4 効率的運用				2.5	0.20	-	-	2.5
集合住宅以外の評価				2.5	1.00	-	-	
4.1 モニタリング				3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制				2.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	
4.1 モニタリング				3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制				-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			節水コマ、節水型機器	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.9	0.60	-	-	2.9
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			再生クラッシュラン	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			軽天、軽鉄下地	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.70	-	-	
1 消火剤				-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			グラスウール	5.0	0.50	-	-	
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮			高効率設備の採用	3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮				2.9	0.33	-	-	2.9
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	
2 污水处理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1 騒音				3.0	1.00	-	-	
2 振動				-	-	-	-	
3 悪臭				-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制				-	-	-	-	
2 砂塵の抑制				1.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制				3.0	1.00	-	-	
3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策			光害対策ガイドラインの過半を満たしている、広告物照明なし	5.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	